

令和7年度  
福祉に関するアンケート調査結果報告書  
概要版

函館市  
令和7年12月

## 1 調査の目的

「第2次函館市障がい者基本計画」および「第7期函館市障がい福祉計画」が令和8年度に計画期間の最終年度を迎えるため、「函館市障がい者基本計画」および「函館市障がい福祉計画」を一体化した新計画の策定に向けて、障がい当事者やその家族、障害福祉サービス事業者などを対象として、日常生活や福祉サービスの利用状況、ニーズなど、必要な基礎資料を得ることを目的に調査を実施しました。

## 2 調査の対象者

	区 分	対象人数
障がい当事者	身体障がい児・者	1,000人
	知的障がい児・者	1,000人
	精神障がい児・者	1,000人
	難病患者	1,000人
障害福祉サービス事業者		124法人

## 3 調査方法

### ① 調査票の配布および回収の方法

#### 【障がい当事者用】

調査票は、郵送により配布し、身体障がい児・者には点字版または録音版（CD）、拡大文字版の調査票を用意している旨のSPコード付き案内文を同封しました。

調査の回答については、プライバシー保護の観点から無記名による記入とし、調査票の送付の際に同封した返信用封筒にて、郵送により回収しました。

#### 【障害福祉サービス事業者用】

調査票は、メールで各事業者へ送付し、エクセル様式の調査票に入力後、メールで回収しました。

### ② 調査票の記入

調査票は、原則として本人が記入することとしましたが、対象者の障がいの状況や年齢などにより記入ができない場合は、家族などの代筆としました。なお、代筆する際には、調査票に本人との関係について記入してもらうこととしました。

## 4 調査期間

令和7年9月22日から令和7年10月17日

※10月27日まで返送のあった分まで有効回答としました。

## 5 回収の結果

区 分		対象人数	回収数	回収率
障がい当事者	身体障がい者	1,000 人	459 人	45.9%
	知的障がい者	1,000 人	464 人	46.4%
	精神障がい者	1,000 人	430 人	43.0%
	難病患者	1,000 人	501 人	50.1%
合 計		4,000 人	1,854 人	46.4%
障害福祉サービス事業者		124 法人	84 法人	67.7%

## 6 調査結果を見る上での注意事項

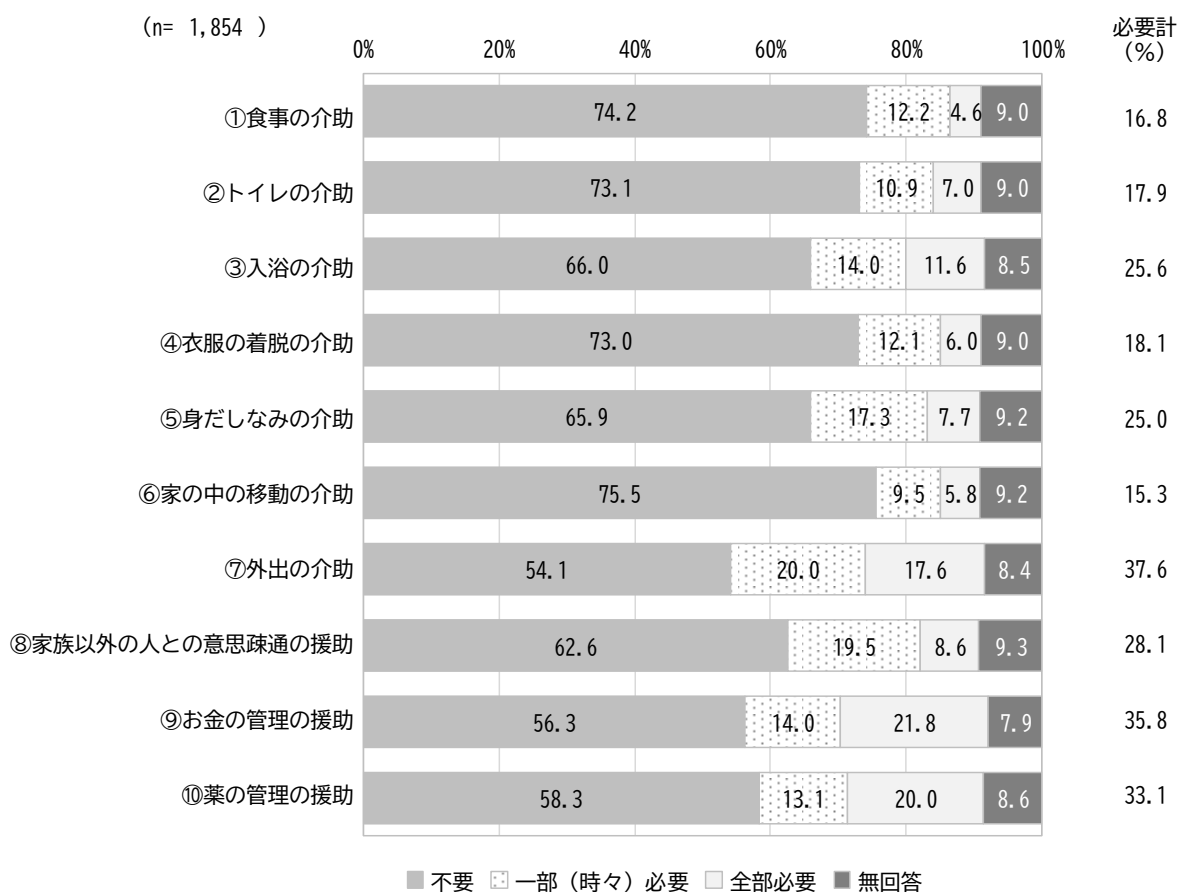
- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。
- ・百分率（％）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しています。そのため％を足し合わせて100%にならない場合があります。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合があります。

障がい当事者用

## あなた（宛名の方）の性別・年齢・ご家族などについて

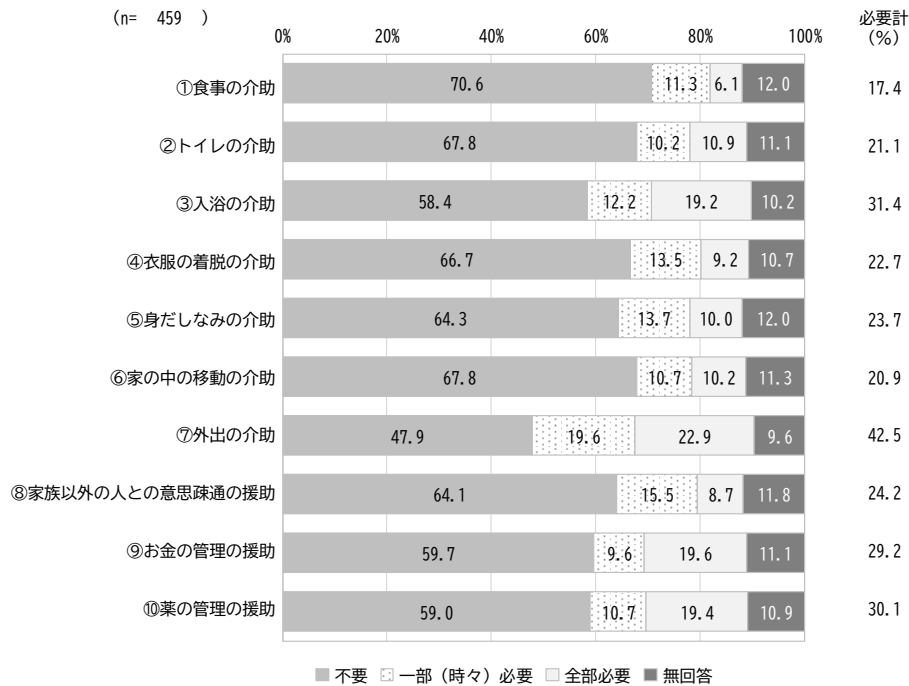
問5 日常生活の中で、次の支援が必要ですか。①から⑩のそれぞれにお答えください。  
 (①から⑩それぞれに○を1つ)

日常生活の中で必要な支援については、必要計（「一部（時々）必要」と「全部必要」を合計した数値）をみると、〈外出の介助〉が37.6%で最も高く、次いで〈お金の管理の援助〉が35.8%、〈薬の管理の援助〉が33.1%となっています。



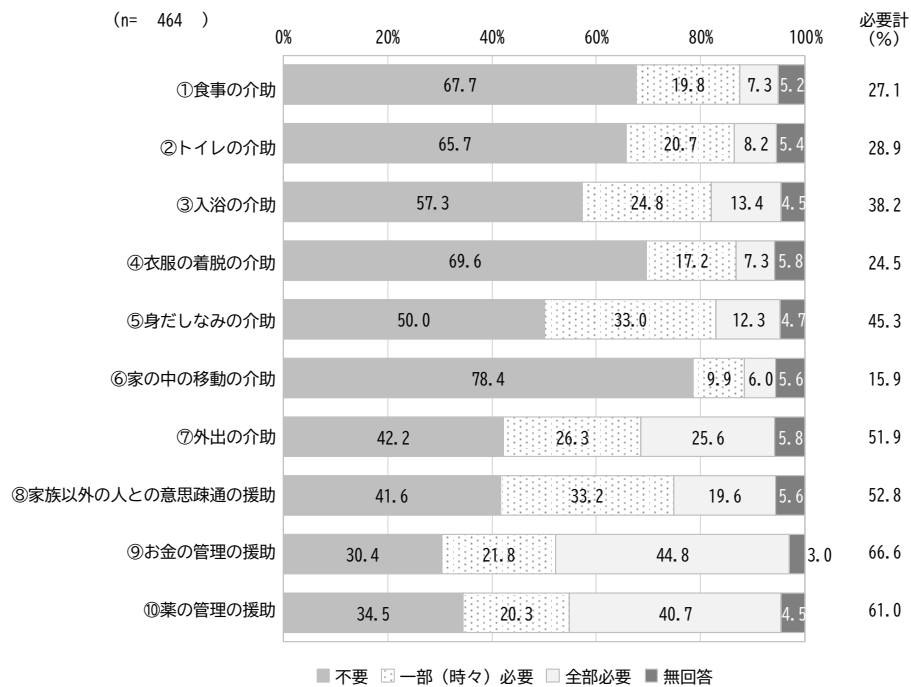
### 【身体障がい】

身体障がいの区分に限って必要計をみると、〈外出の介助〉が42.5%で最も高く、次いで〈入浴の介助〉が31.4%、〈薬の管理の援助〉が30.1%となっています。



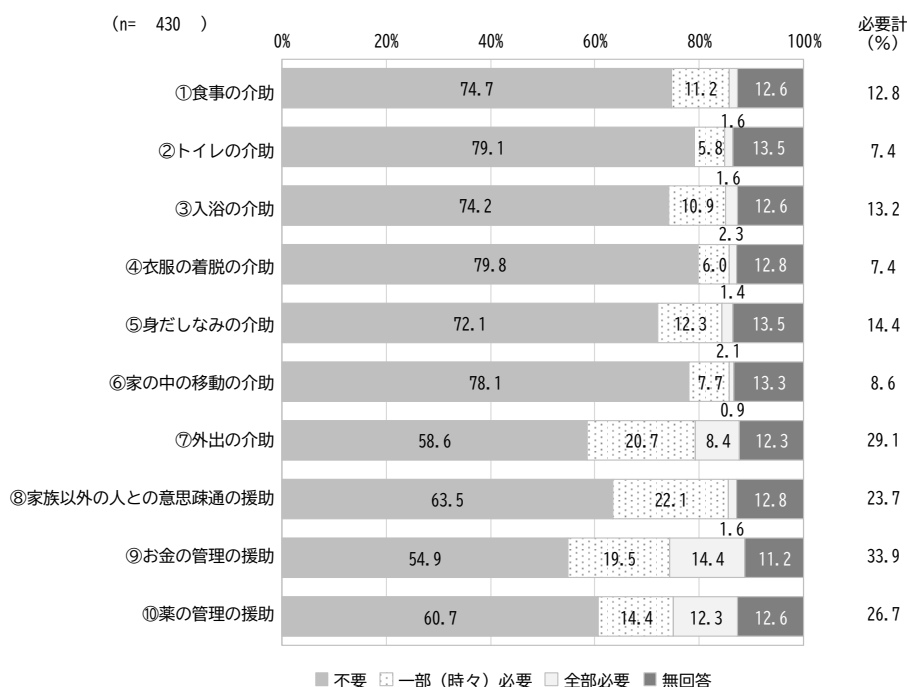
### 【知的障がい】

知的障がいの区分に限って必要計をみると、〈お金の管理の援助〉が66.6%で最も高く、次いで〈薬の管理の援助〉が61.0%、〈家族以外の人との意思疎通の援助〉が52.8%となっています。



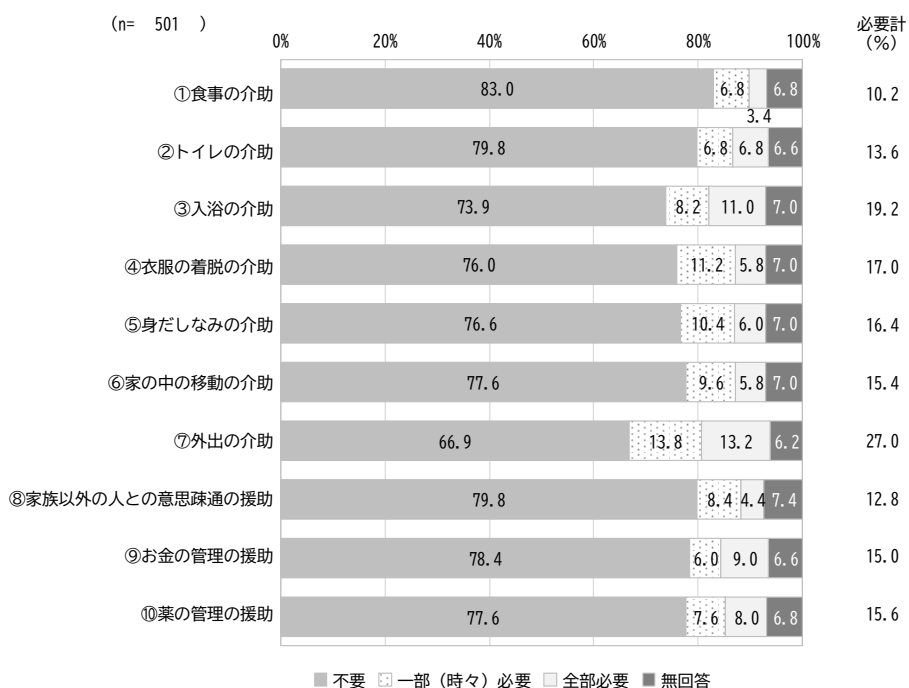
### 【精神障がい】

精神障がいの区分に限って必要計をみると、〈お金の管理の援助〉が 33.9%で最も高く、次いで〈外出の介助〉が 29.1%、〈薬の管理の援助〉が 26.7%となっています。



### 【難病患者】

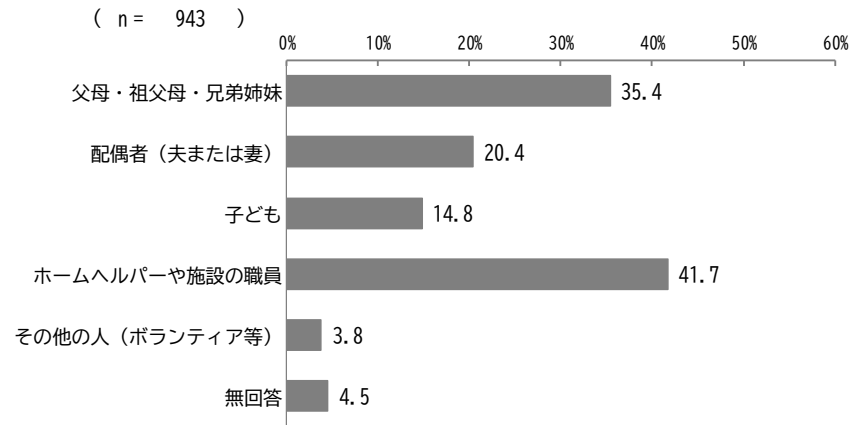
難病患者の区分に限って必要計をみると、〈外出の介助〉が 27.0%で最も高く、次いで〈入浴の介助〉が 19.2%、〈衣服の着脱の介助〉が 17.0%となっています。



【問5で「一部（時々）必要」又は「全部必要」と答えた方がお答えください】

問6 あなたを支援してくれる方は主に誰ですか。（あてはまるものすべてに○）

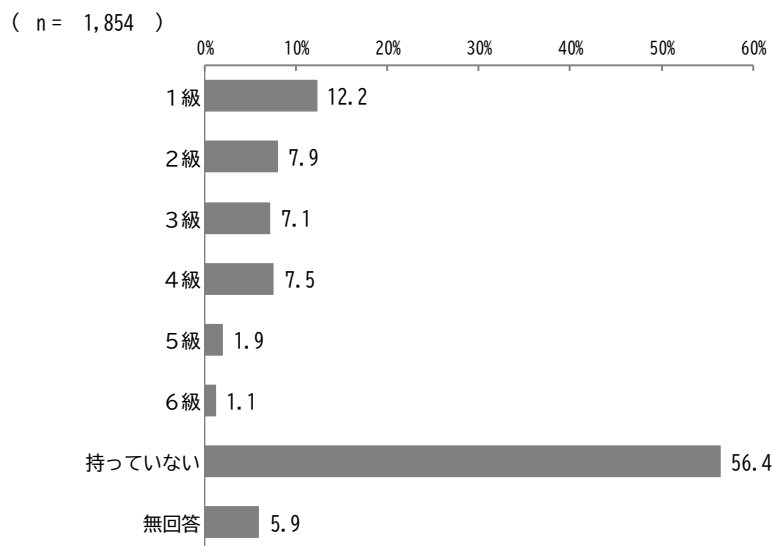
主に支援している方については、「ホームヘルパーや施設の職員」が41.7%で最も高く、次いで「父母・祖父母・兄弟姉妹」が35.4%、「配偶者（夫または妻）」が20.4%となっています。



## あなたの障がいの状況について

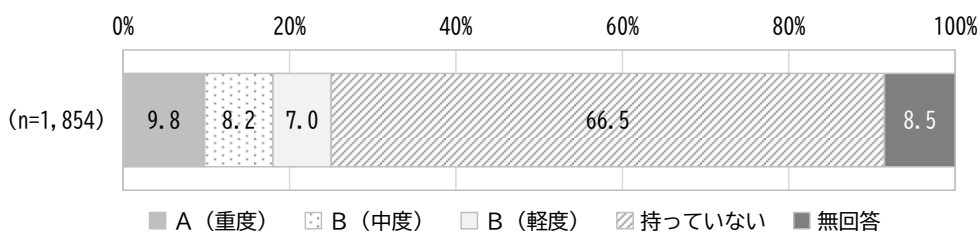
### 問8 あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

所持する手帳の種類については、「1級」が12.2%で最も高く、次いで「2級」が7.9%、「4級」が7.5%となっています。一方、「持っていない」と回答した人は56.4%となっています。



### 問10 あなたは療育手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

療育手帳の所持の有無については、「A (重度)」が9.8%、「B (中度)」が8.2%、「B (軽度)」が7.0%となっています。一方、「持っていない」は66.5%となっています。

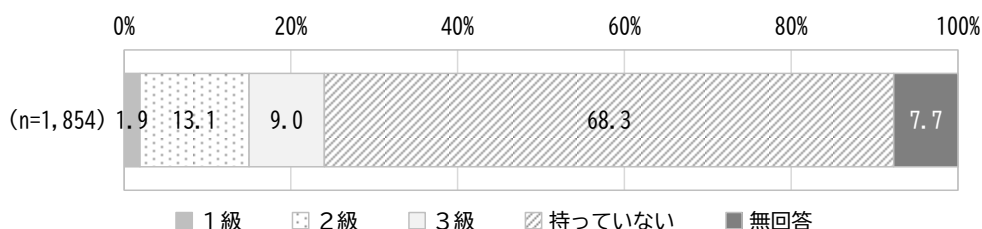


---

問11 あなたは精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

---

精神障害者保健福祉手帳の所有の有無については、「2級」が13.1%、「3級」が9.0%、「1級」が1.9%となっています。一方「持っていない」は68.3%となっています。

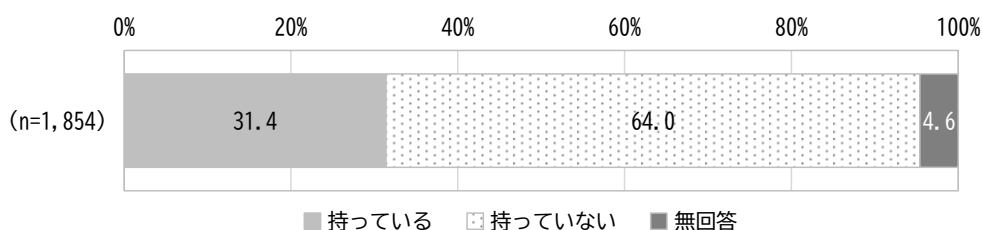


---

問12 あなたは難病による特定医療費（指定難病）受給者証または特定疾患医療受給者証を持っていますか。(○は1つだけ)

---

難病による特定医療費（指定難病）受給者証または特定疾患医療の所有の有無については、「持っている」が31.4%、「持っていない」が64.0%となっています。

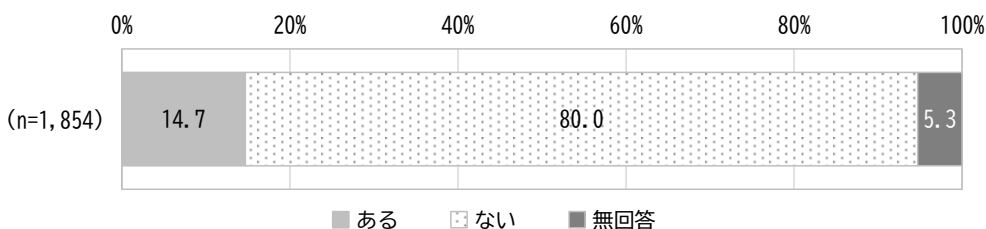


---

問13 あなたは発達障がいとして診断されたことがありますか。(○は1つだけ)

---

発達障がいとして診断されたことの有無については、「ある」が14.7%、「ない」が80.0%となっています。



---

問14 あなたは高次脳機能障がいとして診断されたことがありますか。(○は1つだけ)

---

高次脳機能障がいとして診断されたことの有無については、「ある」が4.4%、「ない」が91.9%となっています。

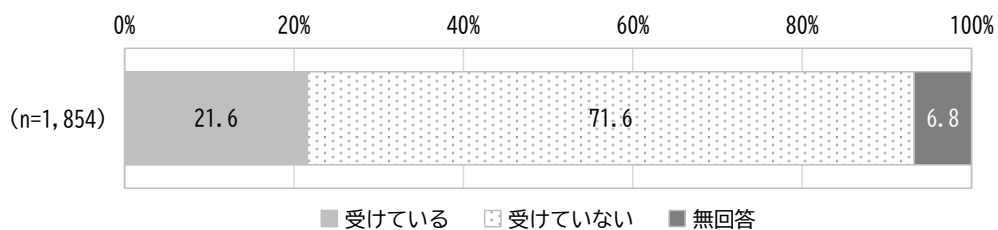


---

問16 あなたは現在医療的ケアを受けていますか。(○は1つだけ)

---

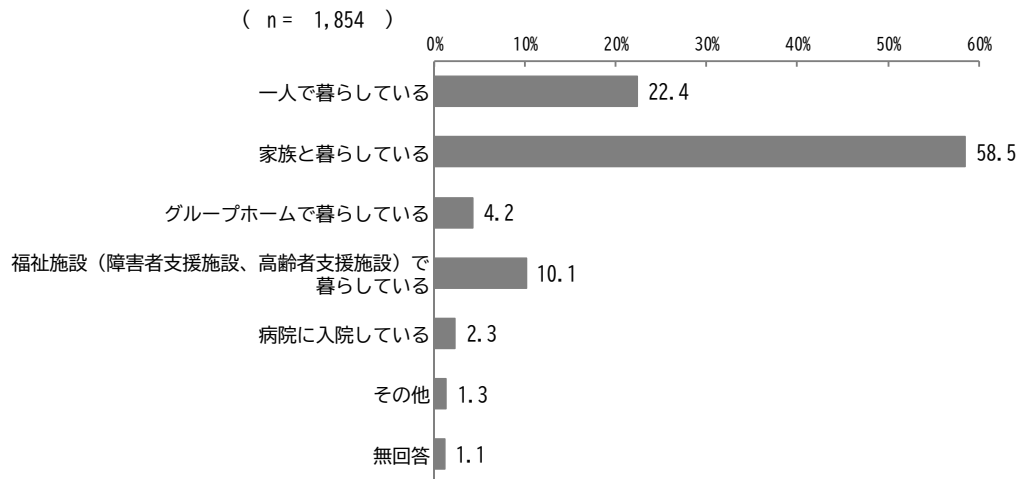
医療的ケアの有無については、「受けている」が21.6%、「受けていない」が71.6%となっています。



## 住まいや暮らしについて

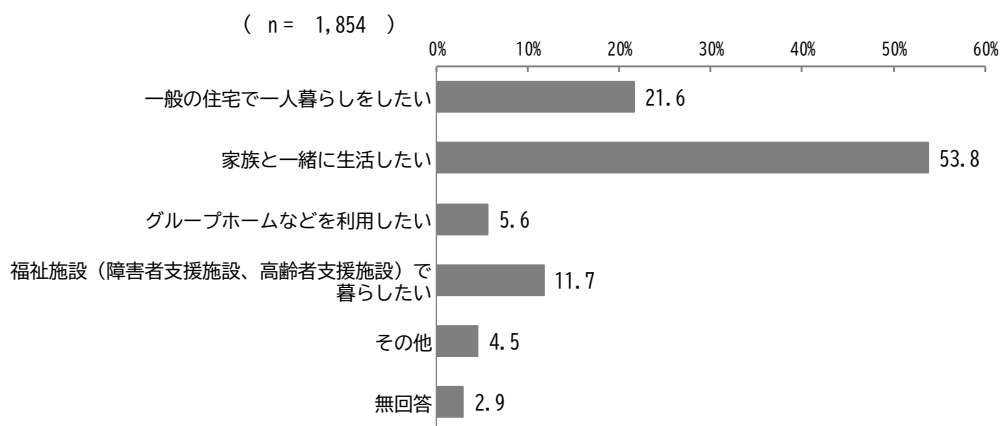
### 問18 あなたは現在どのように暮らしていますか。(○は1つだけ)

現在の暮らし方については、「家族と暮らしている」が58.5%で最も高く、次いで「一人で暮らしている」が22.4%となっています。



### 問19 あなたは今後3年以内にどのような暮らしをしたいと思いますか。(○は1つだけ)

今後3年以内の地域での生活意向については、「家族と一緒に生活したい」が53.8%で最も高く、次いで「一般の住宅で一人暮らしをしたい」が21.6%となっています。

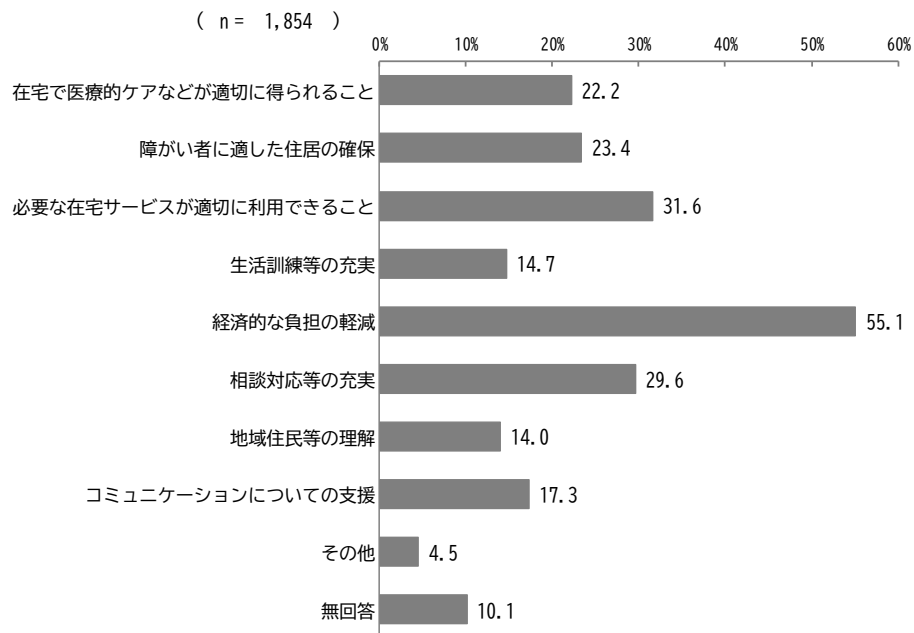


---

問20 希望する暮らしを送るためには、どのような支援があればよいと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

---

希望の暮らしをするために必要な支援については、「経済的な負担の軽減」が55.1%で最も高く、次いで「必要な在宅サービスが適切に利用できること」が31.6%、「相談対応等の充実」が29.6%となっています。

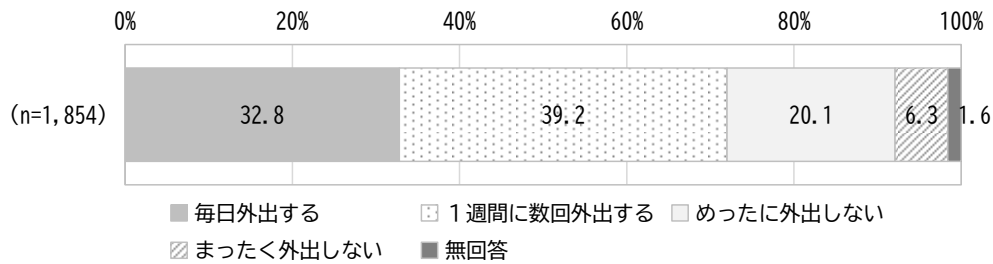


## 日中活動や就労について

問21 あなたは、1週間にどの程度外出しますか。(○は1つだけ)

外出頻度については、「1週間に数回外出する」が39.2%で最も高く、次いで「毎日外出する」が32.8%、「めったに外出しない」が20.1%となっています。

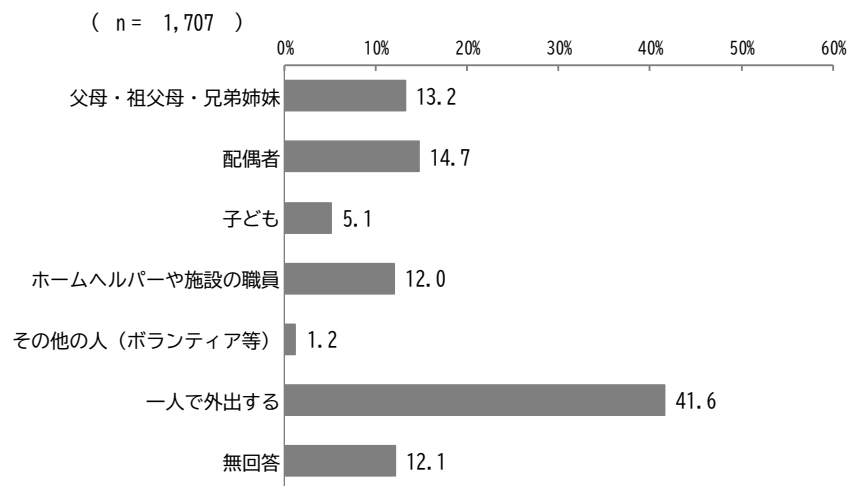
週に数回以上計（「毎日外出する」と「1週間に数回外出する」を合計した数値）は72.0%、一方、外出しない計（「めったに外出しない」と「まったく外出しない」を合計した数値）は26.4%となっています。



【問22 から問24 は、問21 で「4. まったく外出しない」以外を選択した方がお答えください。】

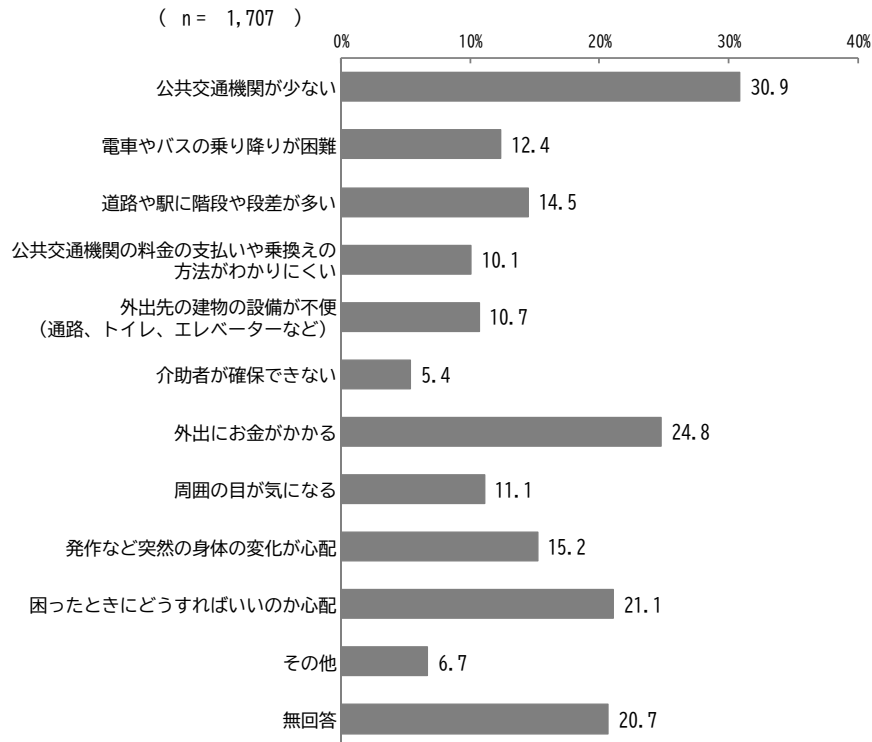
問22 あなたが外出する際の主な同伴者は誰ですか。(○は1つだけ)

外出時の主な同伴者については、「一人で外出する」が41.6%で最も高く、次いで「配偶者」が14.7%、「父母・祖父母・兄弟姉妹」が13.2%となっています。



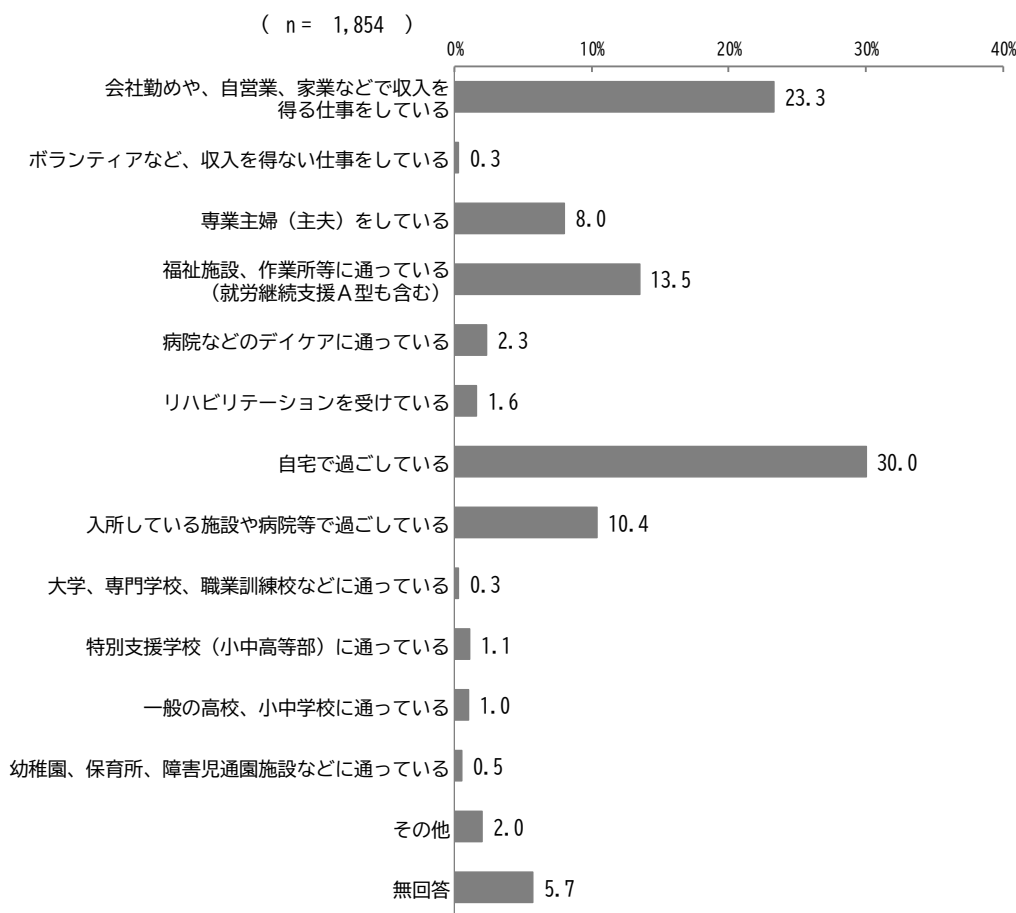
問24 外出するときに困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

外出する時に困ることについては、「公共交通機関が少ない」が30.9%で最も高く、次いで「外出にお金がかかる」が24.8%、「困ったときにどうすればいいのか心配」が21.1%となっています。



問25 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(○は1つだけ)

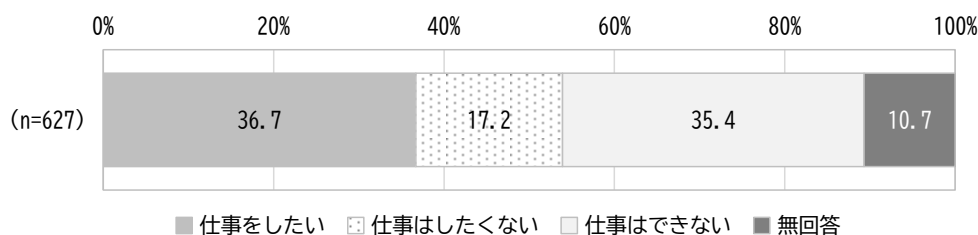
平日の日中の過ごし方については、「自宅で過ごしている」が30.0%で最も高く、次いで「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得る仕事をしている」が23.3%、「福祉施設、作業所等に通っている（就労継続支援A型も含む）」が13.5%となっています。



問27は、問25で「1. 会社勤めや、自営業、家業などで収入を得る仕事をしている」以外を選択した18～64歳の方がお答えください。】

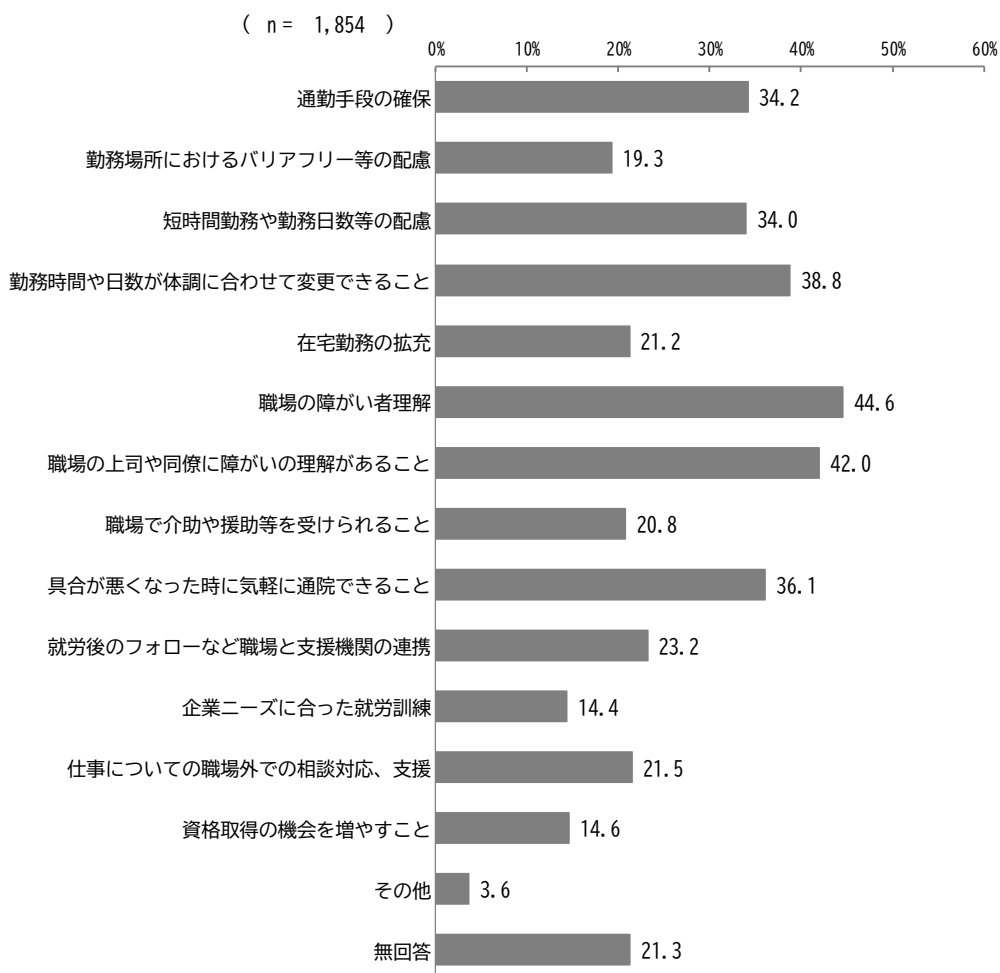
問27 あなたは今後、収入を得る仕事をしたいと思いますか。(○は1つだけ)

今後の就労意向については、「仕事をしたい」が36.7%、「仕事はできない」が35.4%、「仕事はしたくない」が17.2%となっています。



問29 あなたは、障がい者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

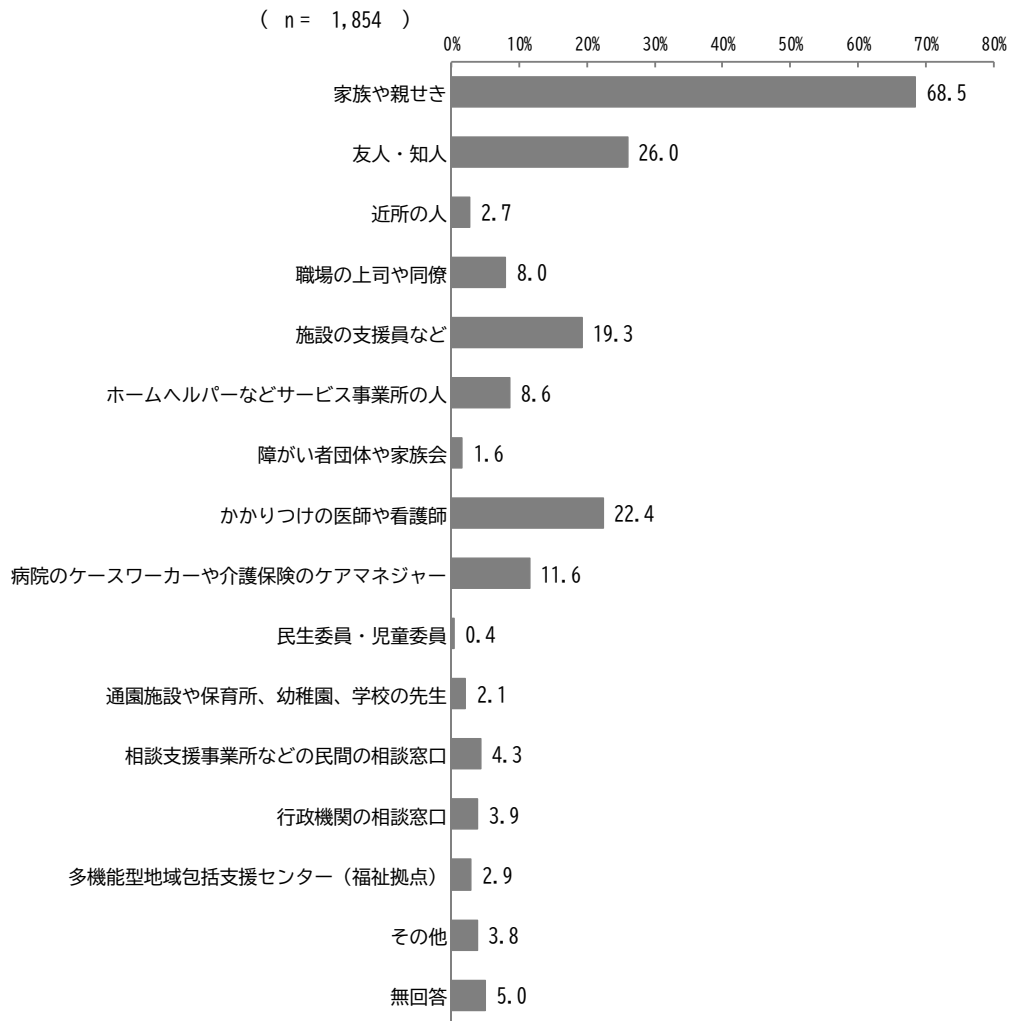
障がい者の就労支援として、必要だと思う事については、「職場の障がい者理解」が44.6%で最も高く、次いで「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」が42.0%、「勤務時間や日数が体調に合わせて変更できること」が38.8%となっています。



## 相談相手について

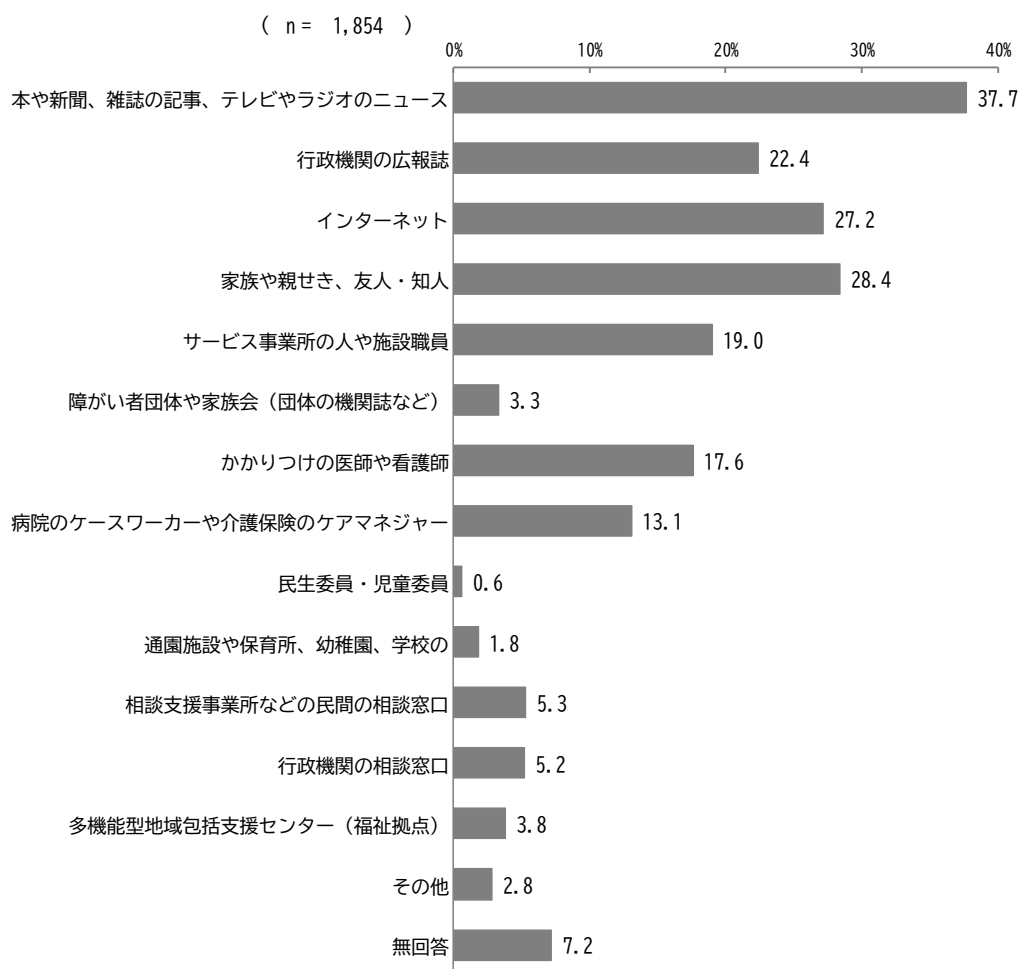
問30 あなたは、普段、悩みや困ったことをどなたに相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

悩みや困ったことの相談相手については、「家族や親せき」が68.5%で最も高く、次いで「友人・知人」が26.0%、「かかりつけの医師や看護師」が22.4%となっています。



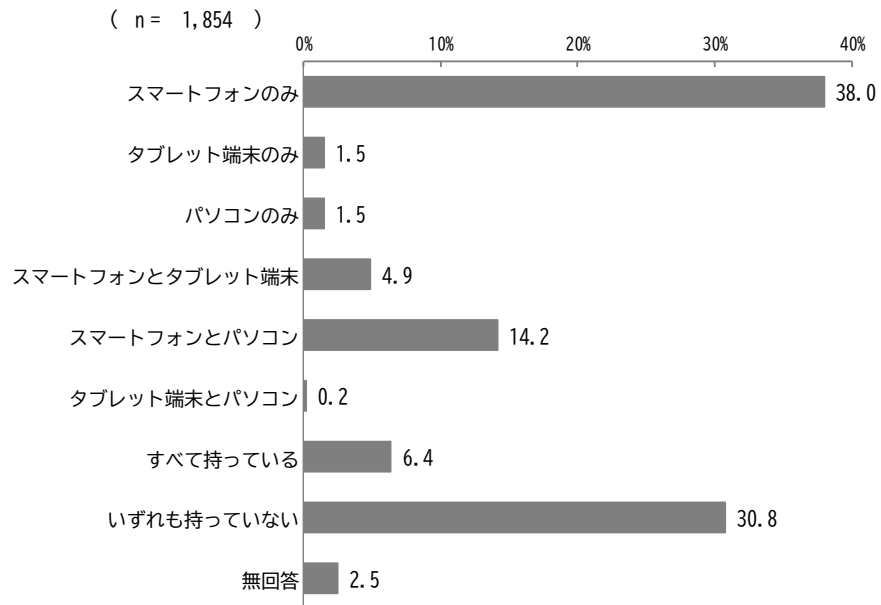
問31 あなたは障がいのことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

障がいや福祉サービスの情報入手経路については、「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が37.7%で最も高く、次いで「家族や親せき、友人・知人」が28.4%、「インターネット」が27.2%となっています。



問32 あなたはスマートフォンやタブレット端末、パソコンを持っていますか。(○は1つだけ)

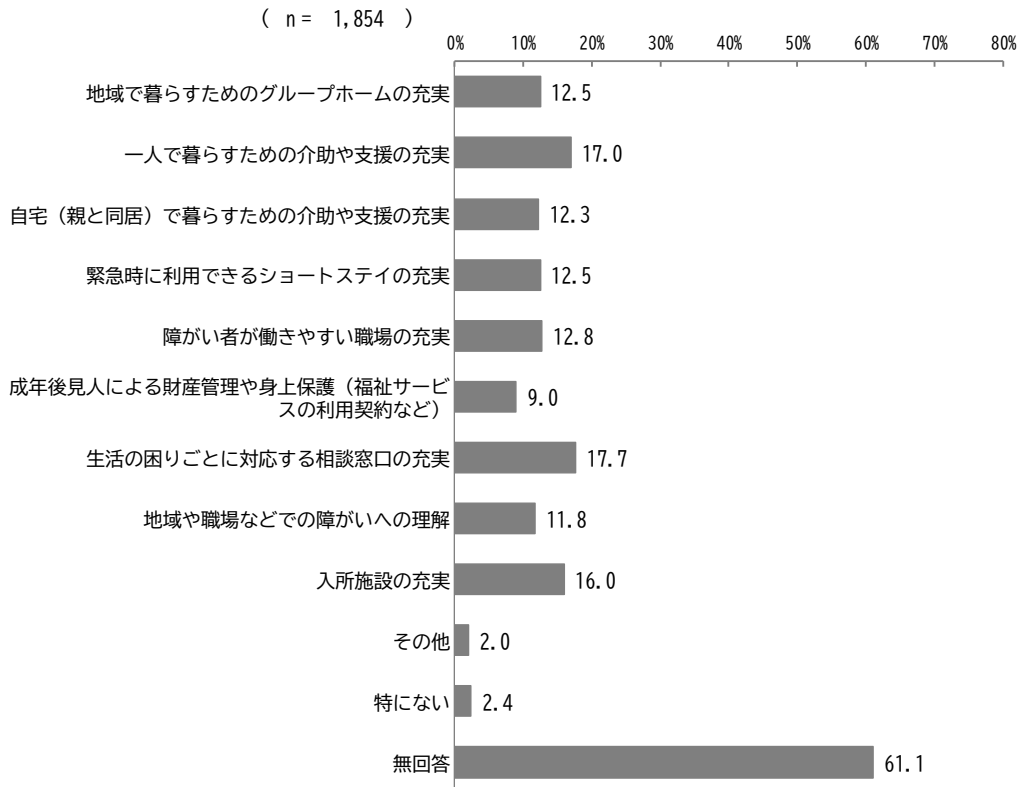
スマートフォンやタブレット端末、パソコンの所有の有無については、「スマートフォンのみ」が38.0%で最も高い一方で、「いずれも持っていない」が30.8%となっています。



【保護者の方へお聞きします】保護者の方以外は問40にお進みください

問39 将来、本人が安心して暮らしていくために、どのようなことが必要だと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

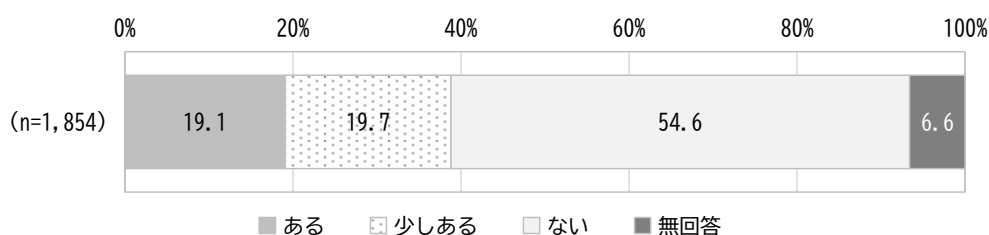
将来本人が安心して暮らしていくために保護者が必要だと思うことについては、「生活の困りごとに対応する相談窓口の充実」が17.7%で最も高く、次いで「一人で暮らすための介助や支援の充実」が17.0%、「入所施設の充実」が16.0%となっています。



## 権利擁護について

問40 あなたは、障がいがあることで差別や嫌な思いをする（した）ことがありますか。  
(○は1つだけ)

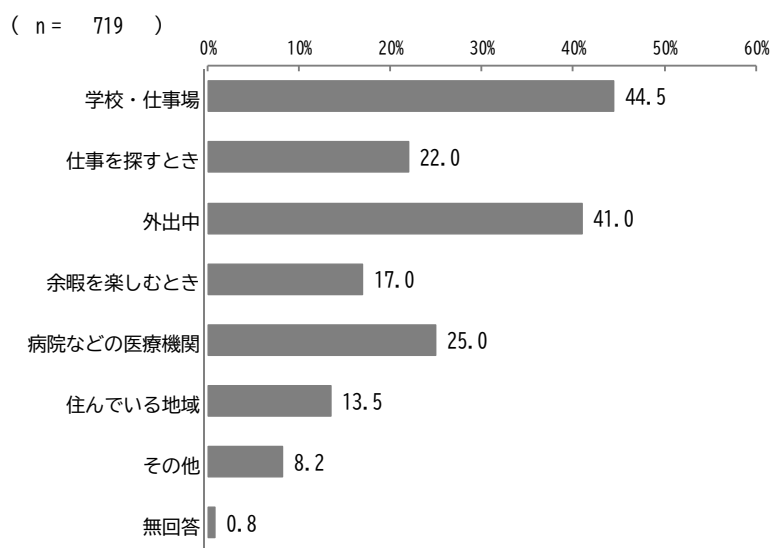
障がいがあることで差別や嫌な思いをする（した）ことの有無については、「ある」が19.1%、「少しある」は19.7%、「ない」が54.6%となっています。経験率（「ある」と「少しある」を合計した数値）は38.8%となっています。



【問40で、「1. ある」又は「2. 少しある」と回答された方にお聞きします。】

問41 どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。(あてはまるものすべてに○)

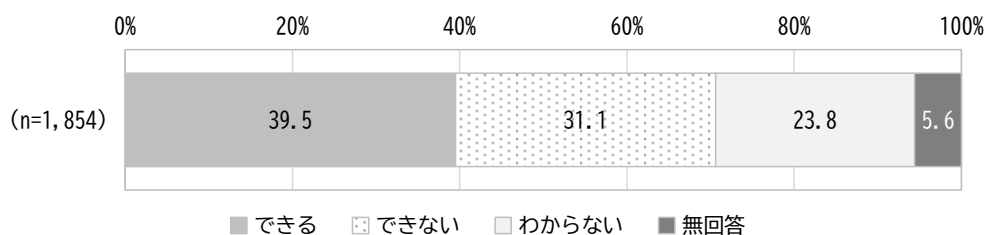
差別や嫌な思いをする（した）場所については、「学校・仕事場」が44.5%で最も高く、次いで「外出中」が41.0%となっています。



## 災害時の避難等について

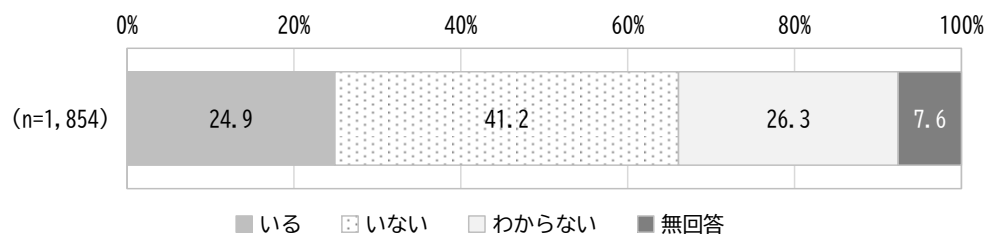
問43 あなたは、火事や地震等の災害時に一人で避難できますか。(○は1つだけ)

災害時における自力による避難の可否については、「できる」が39.5%、「できない」が31.1%、「わからない」が23.8%となっています。



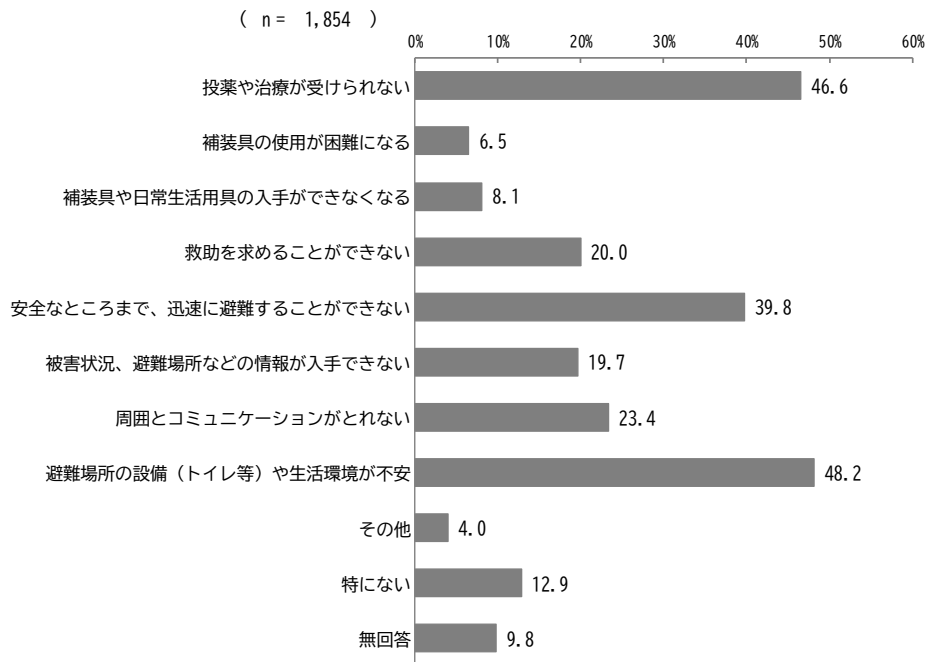
問44 家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか。(○は1つだけ)

家族の不在時や一人暮らしの場合、近所に助けてくれる人の有無については、「いる」が24.9%、「いない」は41.2%、「わからない」が26.3%となっています。



問45 火事や地震等の災害時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

災害時に困ることについては、「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」が48.2%で最も高く、次いで「投薬や治療が受けられない」が46.6%、「安全なところまで、迅速に避難することができない」が39.8%となっています。



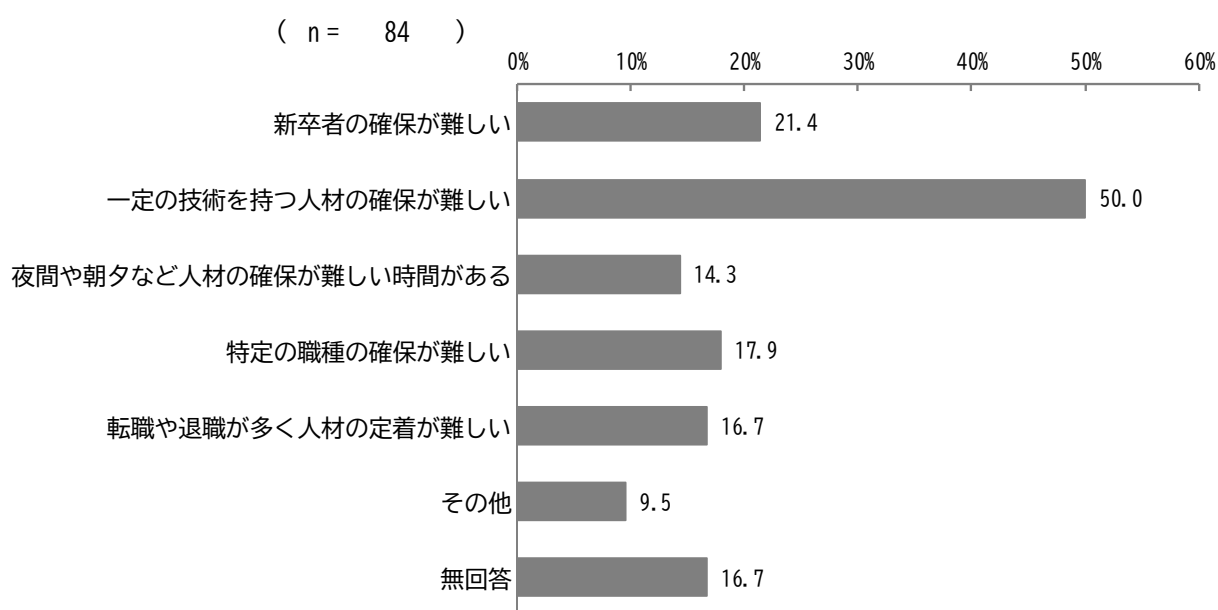
# 障害福祉サービス事業者用

問5 人材確保にどのような課題がありますか。(該当課題を2つまで選択)

人材確保に対する課題については、「一定の技術を持つ人材の確保が難しい」が50.0%で最も高く、次いで「新卒者の確保が難しい」が21.4%、「特定の職種の確保が難しい」が17.9%となっています。

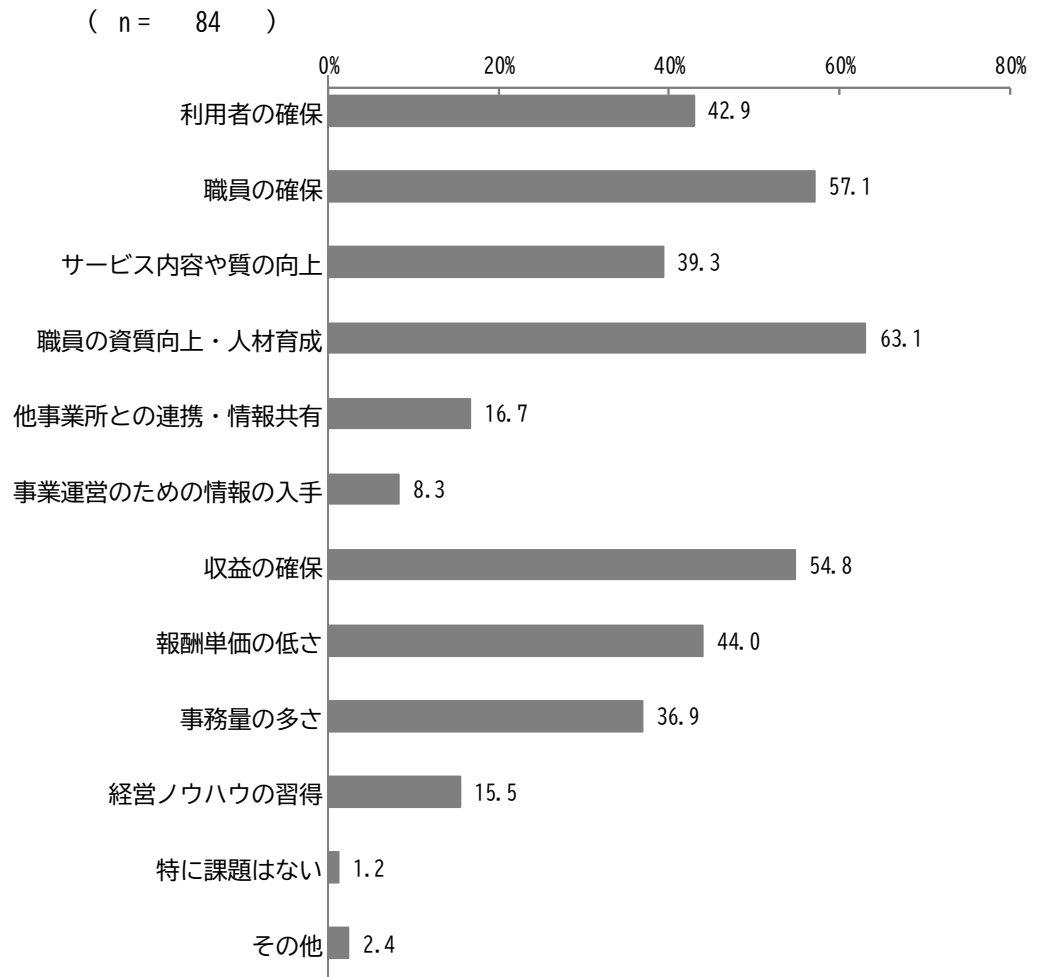
「特定の職種の確保が難しい」と回答した具体的な内容としては、「保育士、児童指導員」「看護職員、医師」「サービス管理責任者」「国家資格保持者の求人が難しい」「資格があっても技術が伴っていない」などがあげられました。

また、その他の具体的な内容としては、「障がいへの理解が足りない」「訓練等給付費の範囲では将来の(余剰の)人材を雇用することができない」「どの職種に関しても就職希望者がなく、日本人の採用は難しい状態。外国人採用を積極的に行っている」などがあげられました。



問7 事業の運営における課題は何ですか（複数選択可）

事業の運営における課題については、「職員の資質向上・人材育成」が63.1%で最も高く、次いで「職員の確保」が57.1%、「収益の確保」が54.8%となっています。



問 10 貴法人では障害者差別解消法による「合理的配慮の提供」について、どのような取組みをしていますか。

障害者差別解消法による「合理的配慮の提供」について行っている取組みでは、「サービス提供する障がい者に対して適切な意思疎通ができるように、コミュニケーションの支援を行っている」が64.3%で最も高く、次いで「サービス提供する障がい者に対して適切な対応ができるよう、研修を実施している」が61.9%となっています。

